

こんにちは

# いしだ ひでみ 石田秀三です



## 日本共産党

### 鈴鹿市議会議員

**ごあいさつ**

**市民とともに20年、これからはがんばります**

34歳で市議会議員に初当選、それから5期20年、市民の代表として議会活動を進めることができました。支えていただいた市民の皆様へ、心から感謝申し上げます。今期も多くの問題に取り組み、鈴鹿市が「合併せずに自立した20万都市として進む選択をしたこと、入札改革

- ◎ 先生をふやして30人学級を
- ◎ 不評のランチサービスをやめて、全中学校に給食を
- ◎ 就学前まで医療費の無料化を
- ◎ 国保税、介護保険料の引き下げを
- ◎ 障害者・高齢者介護に市独自のサービスを
- ◎ 東西南北に図書館分館を

## プロフィール

- 1953年(昭28)伊船町で生まれ、現在53歳。神戸高校、静岡大学人文学部卒。
- 1972年/大学在学中に日本共産党に入り、学生自治会で活動。
- 1975年/鈴鹿市役所に入り、耕地課、公民館、図書館などに12年間勤務。市職員労働組合役員も務める。
- 1986年末退職し、鈴鹿市議会議員に立候補。
- 1987年/初当選。以後5期連続当選。教育民生委員長、鈴鹿亀山広域連合議会議員、国保運営協議会長など歴任。深伊沢小、鈴峰中PTA会長も務める。
- 現在、党鈴鹿亀山市議団長、党三重県委員・北勢地区常任委員
- 家族は、妻(教員)、母、敷地内に長男一家4人、(長女は独立・二男は大学生で別居)
- 趣味は山登り、フォークソング、読書など。



白馬岳へ登る



地元の祭でフォークを歌う



# 石田秀三さんはこんな人

## 社会を変え、自分を変える

## 石田さんに期待します

人間性こそ政治の基本



東大阪市長 長尾淳三

子ども時代は、内気でおとなしく本の好きな子で、自分の意見を発表したり人前でしゃべることなどは大の苦手でした。それが大学での自治会活動や共産党の活動に参加するようになってからは、「正しいことは正しい、間違いは間違い」とはつきり言わなければ、社会を良くする

## 弱者の味方としてがんばって

鈴鹿民商事務局長 木村薫彦

私たちの払った国税や地方税は、まず社会保障(福祉)に使われなければなりません。このあたりまえのことを議会で発言できるのは、日本共産党の議員だけです。だから私は、石田秀三さんを推薦します。

冬を通過して来た春風のような石田秀三さん

元高校教員 加藤正美(上野町)

移動図書館の存続を希望する署名が、四百人近く集まった。三人の代表の一人として、市に訴えることになった。石田議員に同席願った。石田さんは、声高ではないが、誰が聞いても納得せざるを得ない、しつかりしたデーターに基づいた話をされた。春風のように優しいが、冬の厳しさに鍛えられていると思った。

頂いた「議会レポート」の「すこすこ」欄には、映画や本の感想がある。石田さんの心の豊かさに惚れこんだ。20年目を迎えた市議のベテラン。私の期待に応えてくれる人だと信じる。

## 市民の声を市政に届けて

西光寺住職 川北秀洋(徳田町)

石田秀三さんは、困っている人と一緒に生活して、住む家を探したり生活保護の手続きを手伝うなどの活動を多くしておられます。目立たない仕事ですが、沢山の人が「どうにか生活が出来るようになった」と喜んでます。

議会では「国民健康保険税」の引き下げや、「産廃焼却施設」を地域住民の皆さんと力を合わせてストップさせるなど、数々の成果を上げています。

住民の声を市政に届け続ける石田さんを、私も応援します。